３年道徳通信　第４号

第４回『小さいこと』

　生まれてから何も他人のためにできなかったと思った「私」は，他人に知られずに他人のためになることをしようと，どこへ行っても便所の草履をそろえて出ることにしました。そうしているうちに、他のことでも不親切にできなくなるらしいことに「私」は気づきます・・・。
　明日から修学旅行です。３日間の集団行動で、お互いが気持ちよく過ごせるように、できそうな「小さいこと」について考えてみました。

みんなの意見

「ごく小さい自分のしつけが、他のことでも私を支配している」とは？

- 自分から率先して動いていると、困っている人がいたら助けたりできるようになる。
- 普段から意識をしていると、気を配ることができるようになる。修学旅行の時もしっかり周りを見ようと思った。
- 当たり前のことやちょっとしたことを丁寧に続けることが大切。

「考えているより、何か始めることが大切」さあ、何を始めますか？

- お風呂から出るときに、次の人が使いやすいようにさっと片付けてあがる
- 毎日手伝いをする
- 日めくりカレンダーを毎日ちゃんと変える
- 勉強の時間を増やす
- トイレのスリッパをそろえる
- 食べたお皿を台所に持って行く
- 「いただきます」「ごちそうさま」を言う
- トイレはきれいにして出る
- 玄関で靴をそろえる
- 家に誰もいなくても絶対「ただいま」と言う
- 家に帰って、自分の水筒と弁当箱は自分で洗う

よい生活習慣を実践するのに

大切な心構えとは、何だろう。